

平成23年度事業計画

公益法人制度改革の施策をふまえ、今後協会の進むべき方針を模索しながら、協会として果たすべき事業を積極的に展開する。

調査研究では、各種トンネル技術の当面する課題や会員のニーズを反映した課題を実施するとともに各機関におけるトンネル技術に関する諸問題について受託業務を積極的に実施する。催物事業においては、会員相互の技術の向上を図るためのトンネル工事現場研修会や発表会・講習会等を実施する。広報活動においては、ホームページの充実や会誌・図書の頒布を通じてトンネル技術に関する情報を提供することで会員の資質向上を図る。国際関係事業においては、I T A加盟国代表として各作業部会に協力し各国との技術交流に努める。

1. 会員拡大

会員から意義のある活動をする協会として期待されるよう努め、個人および関係法人の入会を勧誘し事業の運営基盤の安定を図る。

2. 運営・広報事業

総務委員会

- (1) 事業運営上の重要事項について検討する。
- (2) 公益法人制度改革の施策のもとで、新法人への移行について検討する。
- (3) 協会の広報活動に努める。
 - ①ホームページおよび会誌「トンネルと地下」等により広報活動の充実に努める。
 - ②積極的広報のための「E-mail配信」を実施する。
 - ③各種委員会の研究成果である貴重な技術情報の活用を図るための広報活動に努める。

3. 国際関係事業

国際委員会

- (1) I T Aを通じてわが国のトンネル技術情報を積極的に発信するとともに、I T Aの活用に努める。
- (2) トンネル技術に関する海外の雑誌の記事を抽出・翻訳して会誌やホームページに紹介する。
- (3) 隔年誌「TUNNELLING ACTIVITIES IN JAPAN 2012」の編纂に着手する。
- (4) 海外向けのホームページをリニューアルする。

4. 催物事業

事業委員会

協会の事業活動に対して会員をはじめ広く一般の理解と関心を高め、その参加協力を求めるとともに、当面する技術課題をふまえた各種催物を企画し、トンネル関係者の実務上有益な知識の向上に努める。

(1) 現場研修会

国内の鉄道、道路、電力、地下鉄、下水道等各種トンネル工事現場の研修会（見学会）を随時開催する。

(2) 発表会

第68回施工体験発表会は山岳トンネルについて「課題：様々な課題克服に取り組んだ山岳トンネル工事例」、第69回は都市トンネルについて「課題：都市トンネル工事におけるコスト縮減または工期短縮の施工事例」をそれぞれ実施する。

(3) トンネル技術ステップアップ研修会

トンネル実務経験5～10年程度の中堅技術者を対象としたトンネル技術ステップアップ研修会「山岳部門」と「シールド部門」をそれぞれ開催する。

(4) 講習会・講演会

最近の話題をもとに随時、企画実施する。

(5) モグラ研究会

トンネル技術者の既存の枠にとらわれない自主的な技術力の向上を図るとともに、トンネル技術に関する情報交換の場として懇談会を随時実施する。

5. 調査研究事業

1) 技術委員会

各小委員会の全体掌握、今日的な課題や会員のニーズを把握するための情報収集に努め調査研究に反映する。なお、各小委員会の活動計画は、以下のとおりである。

(1) 共通技術小委員会

- ①ホームページ上の資材機械検索リストの管理運営を行なうとともに内容の充実を図るため、更なる関連会社への掲載依頼やホームページ利用に対する積極的な広報活動を実施する。
- ②他の委員会に属しない今日的な課題を取り上げた調査検討を行う。

(2) 山岳工法小委員会

- ③前年度に引き続き、トンネル支保工の現場における問題点・課題(設計と現場の乖離)とその対処方法などについて検討を実施する。
- ④前年度に引き続き、最近の海外におけるトンネル支保工の現状を調査し、日本における支保工の考え方との比較を行い、今後の合理的な支保のあり方等について調査検討を実施する。

(3) 都市トンネル小委員会

- ⑤わかりやすい言葉で技術の継承を行うこととして平成21・22年度でまとめた「シールド工事に係る格言集(シールド工事における留意点)」について、その活用と広報活動を実施する。
- ⑥都市トンネル技術に関する今日的な課題を取り上げ、調査検討を実施する。

(4) 安全環境小委員会

- ⑦「シールド工事の災害事例」について情報収集・整理する。
- ⑧安全環境に関する今日的な課題を取り上げ、調査検討を実施する。

(5) 保守管理小委員会

- ⑨前年度に引き続き、保守困難トンネルの維持管理について、各事業体からの事例を基に情報交換を実施するとともに会員への広報方針を検討する。

2) 受託研究委員会

これまでに蓄積されたトンネル技術の成果を踏まえ、委託者(発注者)の期待に応える調査研究を実施する。